

第14回 市長と話そう会（北方町女性ネットワークの会）

日時 平成30年5月24日（木）11:00～11:40

場所 武雄市庁舎ホール

参加者 北方町女性ネットワークの会 会員41名



市民の皆様と市長が直接語り合う「市長と話そう会」第14回目は、北方町女性ネットワークの会“スマイル”の会員の皆さんとの意見交換でした。市長から『市長が考える武雄市の未来』について話をし、その後会員様よりご意見をいただきました。内容を抜粋して掲載しております。《掲載に当たり、一部個人のプライバシーに関する部分等については省略しております。》

【市長より】

市民の方には、この武雄市庁舎ホールを今後も積極的に活用してほしい。意見交換会、展示会、学びの場など、世代を超えて活用してもらいたい。先日開催した『秋田竿燈まつり in 武雄』には予想を超え8万人の来場者がありとても好評であった。まごころ秋田で有名な秋田の竿燈会の方々も、武雄市民の歓迎におもてなしに感動されていた。今回、武雄市の地域の力を感じたところ。竿燈は演じ手、周りで見ている人、支える人みんながいて祭りが完成する。これはまちづくりに似ている。一人の100歩よりも100人の一歩のほうがまちはよくなる。1人ひとりの得意技を合わせて、まちはよくなる。いくつになっても安心して住めるまち、住み続けられるまちを作りたい。

また、災害等の緊急時に備え、平時には当たり前で使用できるものが使用できなくなる時にどうするか等、日頃から考えておくことが必要。一つの手段だけに依存するのではなく、一つの手段が使えない時に使える別の手段を考えておくことが大事。平時からの備えは、自分のそして地域の安全安心に繋がる。まちづくりも同様で一人でも多くのつながりをつくる、チャレンジすることが大事。各々の得意技・知恵袋を地域の中で活かしてほしい。

【意見交換】

（参加者）

- ・北方町西体育館の老朽化について

（市長）

- ・北方町西体育館だけでなく、市内公共施設全体の建物の老朽化が進み、更新の時期がきており、今後どうしていくのか検討を始めている。安全に安心して使用できるよう検討をしていく。

（参加者）

- ・相撲の巡業を誘致してほしい。相撲の復活を望んでいる。

（市長）

- ・市制10周年事業で、各町対抗子ども相撲大会に佐渡ヶ嶽部屋より力士の方に来てもらい好評だった。地元出身で活躍する力士もいるので、是非大相撲を誘致したい。